

福大共生システム 完成の研究実験棟  
 テム理工学類

# 地元企業 連携拠点に

## 小動物施設を新設

### 先進的な分析室、実習室も

このほど完成した福島一類研究実験棟は、人材育成を進める拠点として期待を集めている。

鉄骨造七階建、延べ床面積三八六一・九〇平方

メートルで、一部は四月から使用が始まっている。従来

は隣接する共生システム理工学類棟にあった実験

室の一部が移動したほか、小動物の知的機能・

神経機能を実験する神経生理実験室や動物飼育室

が新たに設けられた。

コンピュータ実習室には八十台のパソコンと三

つのプロジェクターがあ

る。

新しい施設で化学実験に励む学生

新しい施設で化学実験に励む学生

新しい施設で化学実験に励む学生

新しい施設で化学実験に励む学生

新しい施設で化学実験に励む学生

新しい施設で化学実験に励む学生

新しい施設で化学実験に励む学生

新しい施設で化学実験に励む学生

り、主に理系の専門的な学習のための新しいプログラムが入っている。東京大でも二台しか入っていないという「生産物流システムシミュレーター」は、福島大には四十台入った。製品の生産から収集運搬までを仮想して製品の実用化を考える。

共同分析室には、材料の解析や化学分析を行う機械などが並んでいる。

水の中に解けている物質を測る機器が一方所にそろっている点では県内でも有数。すでに専門で先進的に研究する学生もあり、研究成果が期待できるといふ。

化学の実験で使用している二年の小川澄子さん

「(三)は「施設とともに気持ち」を新たに学習したい」と話していた。

